

平城宮跡・東楼復原工事 現場だより 第2号

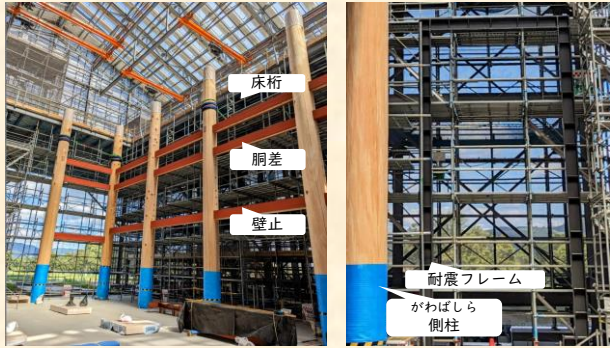
奈良時代を今に感じる 伝統技能の継承現場

温風至（あつかぜいたる、七十二候）
気温があがるとともに温かな風が吹いてくる頃。温風とは南風のことをあらわしており、この頃に吹く風を「白南風しろはえ」と呼びます。雲間から差し込む日差しも強くなっていきます。平城宮跡の朱色の柱が更に色鮮やかに見える季節になりました。

次号からも二十四節気七十二候の日本の細やかな季節の移り変わりを感じて頂けたらと思います。

今、知りたい～現場進捗～

7月時点では、外側の柱（側柱）16本中、14本の建方が完了しております。これからの作業としては、耐震フレームに固定する4本の側柱の建方をしていきます。



魅せる現場 第一回見学会

さあ行こう！～魅せる！現場～

日時：令和5年7月11日（火）
参加：36名

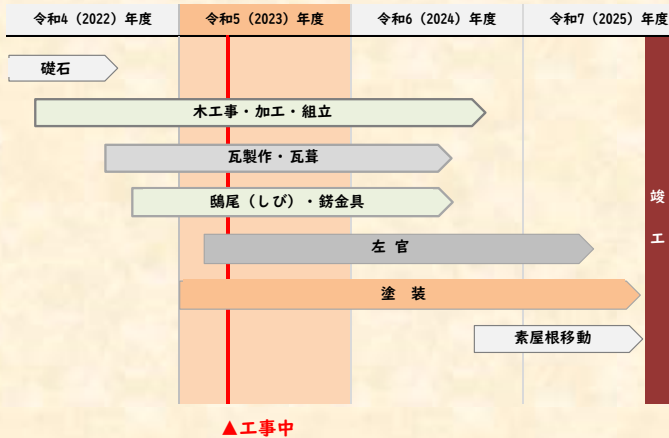
第1回目の魅せる現場には、建設業関係者36名が参加しました。

参加した見学者からは次のような意見が寄せられました。

- ・「長い歴史の中に自分が立っていることに非常に感動」
- ・「伝統を引き継ぎながらの施工の大変、大切さが分かった。」
- ・「現代技術と奈良時代の技術を融合し、復原されており印象に残った。」



平城宮跡の工事概要を現場及び復原情報館で説明することで、古都奈良をより身近に感じてもらいました。



■現場見学ガイド ～魅せる！現場～
～2024年12月末※（終了時期未定）

■申込みサイト

<https://www.kkr.mlit.go.jp/kengaku/moushikomi/moushikomi.html>

見学申込み



■近畿地方整備局 京都営繕事務所

〒606-8395

京都市左京区丸太町通川端東入ル東丸太町34-12

京都営繕事務所

